



各 位

株式会社 大塚家具
 代表取締役会長兼社長 大塚 勝久
 (JASDAQ・コード番号 8186)
 問い合わせ先
 上席執行役員財務部長 所 芳正
 電話 03-5530-5522

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 26 年 8 月 7 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 平成 26 年 12 月期 業績予想の修正

通期(平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 予 想 (A)	58,500	1,224	1,390	1,007	54.34
今 回 修 正 予 想 (B)	57,384	279	442	739	39.88
増 減 額 (B - A)	△1,115	△945	△948	△268	—
増 減 率 (%)	△1.9	△77.2	△68.2	△26.6	—
(参考)前期実績 (平成 25 年 12 月期)	56,230	843	1,004	856	46.19

2. 修正理由

下期におきましては、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減が続く中、イメージ訴求と販売促進の両側面を強化した弾力的な広告活動を行い、需要喚起に努めております。店舗におきましては、販売促進策と連動した売り場づくりに注力するとともに、より魅力的な商品構成の実現に向けた在庫調整や為替動向を念頭とした価格調整を含む商品政策の見直しに着手、業務全般の効率化を企図した組織改編を行うなど、様々な見直しを図っております。

そうした効果もあり、消費税率引上げ直後の 4 月には売上に先行する受注が前年比で 3 割以上落ち込んだものの、その後緩やかに復調し、下期に入り売上の前年比マイナス幅は一桁台まで縮小、年末に向けて徐々に売上が回復していくものと見込まれました。

しかしながら、第 4 四半期に入った 10 月の店舗売上は大型台風の影響もあり、前年実績を 1 割程度下回る見込みとなりました。例年第 4 四半期は下期営業利益の大半を計上する重要な四半期であり、同四半期の見込みが前回予想を下回ると通期見通しへの影響が大きいため、通期業績予想を修正することといたしました。

売上につきましては、上記の状況を踏まえ 573 億 84 百万円(前回予想比 1.9%減)へ修正いたします。販売費及び一般管理費は、足元とともに来期需要期へ向けた来店促進等広告宣伝費を追加的に投入するなど 316 億 21 百万円(前回予想比 1.6%増)を見込み、営業利益は 2 億 79 百万円(前回予想比 77.2%減)、経常利益は 4 億 42 百万円(前回予想比 68.2%減)へ修正いたします。当期純利益につきましては、第 3 四半期に計上する厚生年金基金の特例解散に伴う特別損失 5 億 7 百万円、投資有価証券売却に伴う特別利益 10 億 77 百万円等を織り込み 7 億 39 百万円(前回予想比 26.6%減)へ修正いたします。

(注1) 上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(注2) 平成 26 年 12 月期第 3 四半期の業績につきましては、平成 26 年 11 月 7 日に公表する予定です。

以 上